

吉兵衛堀排水ポンプ場について



大型ポンプ2台と水門のある排水施設

吉兵衛堀排水ポンプ場は、市内を流れる吉兵衛堀の雨水対策のため常盤町内に設置されています。

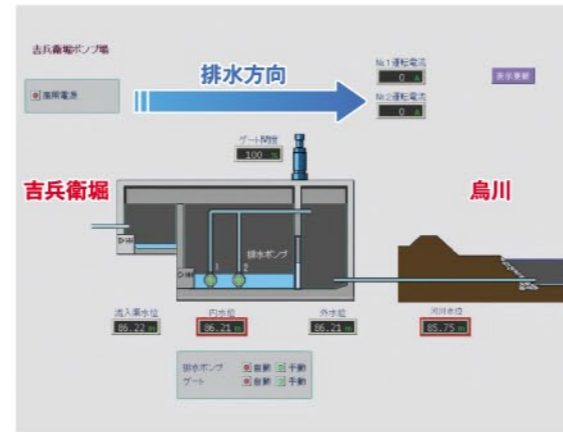
排水用の45kWの大型ポンプ2基と烏川からの逆流を防ぐ水門1基を備えており、台風やゲリラ豪雨等における河川の増水に対応しています。

地域の皆様の安全のため、遠隔監視装置、自動運転制御と人員の緊急配備により24時間365日の監視体制を整えています。



晴天時の様子

強雨時の様子



インターネット回線を使用した遠隔監視装置画面

※パソコン・タブレット端末から遠隔監視を行っています。

●問い合わせ先 下水道局施設課 (電話 027-321-1289)

豆知識

近代の下水道

中世から近世のヨーロッパにおいては、衛生状態の悪化により、ペストやコレラといった伝染病の流行が人々を悩まし続けました。1848年になって、ロンドンで下水道に汚水を接続することが義務化され、その後欧米各国で下水道の整備が進展しましたが、当時は未処理のまま河川に流しており、衛生的に十分なものではありませんでした。



その後、都市への人口集中、産業の進展などもあって、河川等の水質汚濁がさらに深刻な社会問題となりました。そのため、汚水を簡易処理して流していましたが、1913年に微生物を利用した活性汚泥法が開発され、主な処理方法として今日でも広く使われています。

■改良されたパリの街路と下水道。意外にも尿の流入が始まったのは1880年以降であり、また、この時代の下水道は汚水処理までは行っていませんでした。

出典：国土交通省ホームページより

凍結防止について

冬になると、屋外の水道管やメーターボックス内で凍結事故が多発します。ご家庭にあるタオルとビニールテープ・市販の保温材を巻き付けるなどして、凍結を防いでください。

凍ってしまったら、その個所をタオルなどで覆い、その上からぬるま湯をゆっくりとかけてください。熱湯をかけると、ひび割れたり破裂したりして危険なので注意してください。

急いで使わないときは、自然に溶けるのを待ちましょう。



保温材をビニールテープで巻いた状態



発泡スチロールを入れたビニール袋をメーターボックス内に詰めた状態

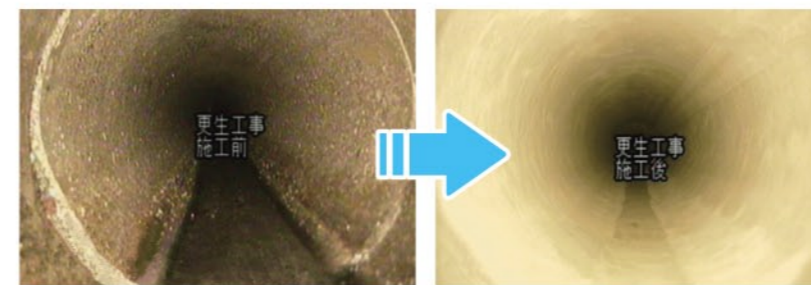
●問い合わせ先 水道局工務課維持管理担当 (電話 027-321-1284)

下水道ストックマネジメント計画

高崎市では古くから下水道の整備を進めてきたため、下水道施設が老朽化しています。その対応として「下水道ストックマネジメント計画」を策定し、老朽化に起因する事故や市民生活への影響を防止、ライフサイクルコスト縮小や耐震化、更に機能性の向上を考慮した下水道施設の補修・改築を計画的に進めています。計画の一環として、下水道局維持管理課では管更生工法により下水道管の改築工事を行っています。工事期間中は皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

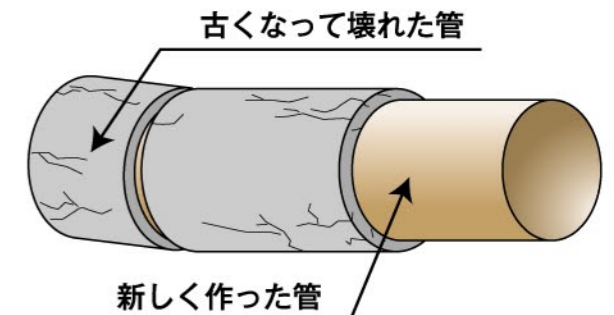
管更生工法とは

古くなってひびが入ってしまった管や、接続したところはずれてしまった管を道路を掘らずに直す工法です。わかりやすいえば、古くなった管の中に新しい管を作ってしまう工法です。



更生前

更生後



古くなって壊れた管

新しく作った管

※ストックマネジメントとは、下水道サービスを安定的に確保していくために、計画的かつ効率的な施設管理を行うこと。

私設メーターの有効期限切れにご注意を!

下水のみの水栓をご利用している個人・法人の皆様へ

私設メーターを設置し、汚水排除または減量されている方は、計量法によりメーターを8年毎に交換をすることとなっています。私設メーターは所有者管理ですので、不具合が発生する前に速やかに交換をお願いします。なお、ご不明な点は下水道局維持管理課へお問い合わせください。

●問い合わせ先 下水道局維持管理課 (電話 027-321-1290)